

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 7年 3月 24日

事業所名 特定非営利活動法人ひのーI-BASYO クリッパーズ

配布数 6 回収数 4 割合 約65%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	0	0	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、	3	0	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	0	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	1	2		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3	1	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	0	0	2		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通 理解ができているか	4	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育 児に 関する助言等の支援が行われているか	3	0	0	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等 の 開催等により保護者同士の連携が支援 されているか	1	0	1	2		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れに ついて、対応の体制が整備されている とともに、子どもや保護者に周知・説 明され、相談や申入れをした際に迅速 かつ適切に対応されているか	4	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達の ための配慮がなされているか	4	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活 動概要や行事予定、連絡体制等の情報 や業務に 関する自己評価の結果を子どもや保護 者に 対して発信されているか	3	0	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されてい るか	4	0	0	0		
非常時等の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニユアル、 感染症対応マニュアル等を策定し、 保護者に周知・説明されているか。 また、発生を想定した訓練が実施され ているか	3	0	0	1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難 、 救出、その他必要な訓練が行われてい るか	3	0	0	1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和7年3月24日

事業所名 特定非営利活動法人ひの-I-BASYO クリッパーズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0		
	②	職員の配置数は適切である	10	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達	10	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	1		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	7		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	1		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	1		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	1		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	2		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	現状対象となる利用者がいないため	対象となる利用者が契約する際には、そうした連携体制を整える
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	現状対象となる利用者がいないため	対象となる利用者が契約する際には、そうした連携体制を整える
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	5		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	5		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	5		
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0		
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	5		
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0		
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の早育を促す等	11	0		
	③4	定期的な保護者からの早育を促す等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行う	11	0		
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	9	要望はあるため機会を整える方向で調整	ニーズの高まりがより出てきているので、それぞれのテーマを基に会の開催に向けて検討していく
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1		
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0		
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	11	0		
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	7	現状そうした要望はほぼない。地域自治会との交流などの機会はある	今後必要性が高まれば、安全管理を徹底し機会の検討をする。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	0	
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0		
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	2		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している 点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④④	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の 指示書に基づく対応がされている	9	2		
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内 で共有 している	9	2		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を 確保 する等、適切な対応をしている	11	0		
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を 行うかについて、組織的に決定し、子ど もや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児 童 発達支援計画に記載している	9	2		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人ひの・I-BASYO 児童発達支援 クリッパーズ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		～ 2025年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		～ 2025年 1月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11名	(回答者数)	11名
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「満足度」という直接子どもたちご本人に対する支援の部分では、高評価を頂くことが毎年できている。	日々の活動計画において、基本的に子ども達のやりたいことを実現できるような準備や環境整備、職員の方々の対応方法を常に確認しながら支援を行っている。そのやりたいことの中で、保護者様の要望やこちらが関わる上で必要だと考える支援内容をバランスよく組み込むことができている、それが満足度として表れているのだと考える。	今後も子ども達の気持ちに都度最大限寄り添い、この場が安心して過ごすことができるように、日々向き合い意見を交わしながら支援をしていく。またそれらがより広がるよう、職員間でのコミュニケーションや研修の充実、保護者とのより細やかな連携を図っていく
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の仕組み上、バリアフリーに関する懸念点を頂くことが多い。	2Fの施設ということもあり、年齢が低い利用者様や身体的に課題がある利用者様に負担をかけてしまうことはあると認識している。	施設改修は難しいのが現状である。ただし、現状指摘はあるものの、改善を強く要望する声は見当たらない。また現状において、それらが負担とならないように安全面の配慮や、職員の対応等により環境自体を最大限整えている状況である。今後もご指摘に対して耳を傾けながら、都度対応していく
2	保護者会のような集まる機会がないということに対する指摘を毎年頂くことが多い	事業所としての体制や社会情勢上(コロナ禍)の時期もありなかなか実施できなかったのが現状としてある。要望としていただく機会が多いので、実施の検討は行っているが、現状どのような開催方法が有効的かまとまっていない。	今後もご要望にお応えできるよう、開催に向けた検討を継続し、できるだけ早くに開催できるよう準備検討を進めていく
3			